

# ファイバースノー<sup>®</sup>

低伝導性（極めて電気を通し難い）液状凍結防止剤

- ★ 無色無臭どこでも使える ★
- ★ 速く効く & 長持ち ★
- ★ 踏切 & 踏切周辺道路などに最適 ★



**使用場所**

- 踏切、及び周辺道路、駅のホーム、駅舎周辺 ●駐車場、ガレージ ●一般道路、歩道、歩道橋
- 住宅、店舗等の玄関、出入口、屋外階段、屋上 ●ドア、窓の回転軸、レール部

**性能**

本製品は、JR北海道殿のご指導の下、散布性能試験、電気伝導試験の実施検証を行っております。

- 形状・状態；無色透明・無臭液体。従いまして、使用場所を選びません。
- 凝固点；-35℃（-45℃においても強固な氷を形成せず、シャーベット状です。）
- 電気伝導性；濃度変化に依存せず、ほとんど電気を通しません。

■ファイバースノー及び水やその他凍結防止剤との電気伝導率の比較

品 種	電気伝導率 (mS/m)	備 考
ファイバースノー	0.7	-
雨水	3.4	ファイバースノーの約5倍
水道水	8.3	ファイバースノーの約12倍
40%尿素水溶液	10.9	ファイバースノーの約16倍
1%塩化ナトリウム水溶液	1730.0	ファイバースノーの約2470倍
1%塩化カルシウム水溶液	1750.0	ファイバースノーの2500倍

※測定温度：25℃

■金属腐食性（鉄板腐食速度）試験結果

（北海道立総合研究機構工業試験場 試験結果による）

試 験 検 体	腐食速度 (mdd※)
3%ファイバースノー水溶液	8.2
蒸留水	9.2
水道水	12.3
3%塩化ナトリウム水溶液	35.3
3%塩化カルシウム水溶液	46.4

※mdd；mg / (dm)<sup>2</sup> / day：数値が大きいほど腐食性が高い。

**使用方法**

- 凍結箇所、または凍結が予測される箇所に原液のまま散布して下さい。事前散布が効果的です。
- 経済的に使用して頂くため、積雪を予め除去して下さい。なお、《ファイバースノー》を継続的にご使用いただくと、散布間隔や散布量が少なくても効果を発揮します。
- 散布方法は、散布する面積により散布車、小型噴霧器、ジョーロ、またはハンドスプレー等を使用して下さい。
- 散布目安量は、50～100 ml / m<sup>2</sup>ですが、気象条件、路面状態等にて異なります。

**主 成 分**

- 多価アルコール溶液

**荷 姿**

- 18ℓポリ容器、200ℓドラム缶、1000ℓIBC容器

**使用上の注意**

- 凍結防止以外の目的として使用しないで下さい。
- 積雪がある場合は除雪後散布して下さい。
- 本製品が目や口に入った場合は直ちに水ですすぎ、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流して下さい。尚、必要に応じてメガネ・手袋等の保護具を使用して下さい。
- 開封・使用後は密栓をし、早期に使い切して下さい。
- 子供の手の届かない所に置いて下さい。
- 保管の際は直射日光を避け、高温物を近づけないで下さい。
- 使用前に安全データシート（SDS）を熟読下さい。

■製造販売元

**北海道日油株式会社**

本 社：〒079-0167  
 北海道美唄市光珠内549番地  
 TEL 0126-67-2211 FAX 0126-62-1114

東京営業所：〒330-0802  
 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目149番地3  
 第8藤島ビル 6F  
 TEL・FAX 048-643-8866

URL：https://www.hnof.co.jp

■取 扱 店

●仕様など予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。